

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)結果(平成19年度事業分)

施設名	山梨県立まきば公園					
指定管理者	(財)山梨県子牛育成協会					
指定期間	平成18年4月1日～平成21年3月31日					
施設の使命・役割(運営目標)	動物とふれあうことや主催事業の実施を通して、畜産に関する知識を啓発し、畜産のPRを行うこと。緑豊かな自然の中で動物と触れ合うことにより、県民に保健休養の場を提供すること。					
指定管理者が行う業務	施設及び設備器具の維持保全に関する業務 動物の飼養管理に関する業務 牧草の栽培に関する業務 畜産に関する知識の普及のための催しの実施に関する業務 その他知事が必要と認める業務					
維持管理業務の評価	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価・指導内容				
	開園前および清掃時に点検を実施し、点検記録簿に記載するとともに、施設の修繕等についても速やかに対応し、適正に管理を行っている。	施設の維持管理については、事業報告書や現地確認の結果、適正に業務執行されている。引き続き事業計画に沿った業務を適正に執行されたい。				
運営業務の評価	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価・指導内容				
	計画どおり適正に実施した。来園者数は計画以上の利用があった。	事業報告書や現地確認の結果、適正に業務執行されている。引き続き事業計画に沿った業務を適正に執行されたい。				
自主事業の評価	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価・指導内容				
利用者満足度調査	調査結果	利用者の声				
	満足度 施設・設備の管理に対する満足度:61.6% 展示内容に対する満足度:58.5% 総合評価 満足 68.4% 普通 25.0% 不満 6.6% 満足度評価値=68.4/(68.4+6.6)=91.2%	動物の居場所が分かりにくい。 木陰が少ない 景色は良いが坂がきつい				
評価	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価・指導内容				
	90%を超える人が普通以上と回答しており、満足度は高いと言える。 日常の維持管理を適正に実施しながら、施設の更新・整備を県と協議の上で計画的に進めていき、利用者の満足度を更に高めていきたい。	満足度評価は91.2%と非常に高く、施設管理や展示に関する利用者からの評価も良好であった。 引き続き、園内清掃や手入れを念入りに実施するとともに、園内での事故が発生しないよう十分な注意を払い、ソフト面でのサービスの充実向上を図ること。				
利用実績	利用者数	H(18)年度実績(人) 211,170	H(19)年度計画(人) 210,000	H(19)年度実績(人) 233,280	H(20)年度目標(人) 220,000	
	評価	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価・指導内容		
		本年度は、風林火山プームの観光客増加により、計画を上回る来園者数があった。今後も広報宣伝活動に努め、利用者数を維持していきたい。		平成19年度計画を上回っており、今後も事業計画書等に沿った業務を適正に執行し、年間来園者目標数を確保するよう努めること。		
収支の状況	科目	H19年度計画額(円)	H19年度実績額(円)	差額(計画額-実績額)(円)	H20年度計画額(円)	
	収入	利用料金収入	無料施設	無料施設	無料施設	無料施設
		指定管理料	15,971,585	15,971,585	0	15,971,585
		その他収入	0	0	0	0
		計	15,971,585	15,971,585	0	15,971,585
	支出	15,971,585	15,636,803	334,782	15,971,585	
差し引き(収入-支出)	0	334,782		0		
評価	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価				
	全体ではほぼ計画どおりの執行であった。施設・備品等の老朽化に自主努力では対応できない部分が多く、今後の対応が懸念される。	支出全体の削減(対計画97.9%)及び利用(来園)者数が計画よりも多かったために、管理コストの低減が図られた。今後も支出の削減と来園者数の維持拡大に努めること。				
施設の運営目標の達成状況	主催事業の参加人数(356人)は目標値(400人)を若干下回ったものの、入園者数(23.3万人)は目標値(21万人)を上回っており、目標は概ね達成されている。 主催事業の内容充実と回数を増やすこと等で参加人数の向上は可能である。					
総合的な評価及び改善事項	各種業務は適正に実施され、利用者からの評価も概ね良好であり、利用状況についても計画を上回った実績を上げることができ、努力を高く評価できる。 引き続き、年間来園者目標数を確保するよう努め、園内清掃や手入れを念入りに実施するとともに、園内での事故が発生しないよう十分な注意を払い、ソフト面でのサービスの充実向上を図ること。					